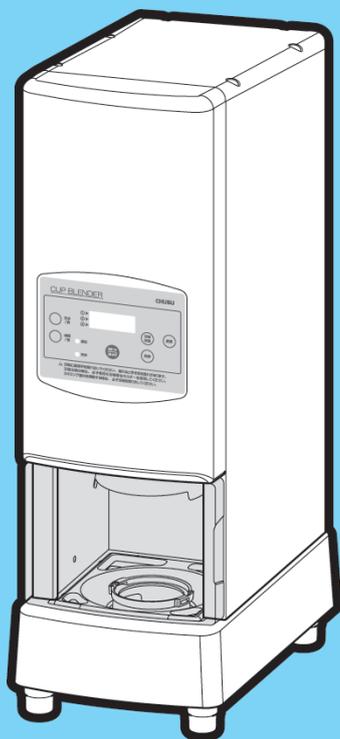


取扱説明書

業務用ミキシングマシン

型式/ SM500A (注水なし)
SM50WA (注水あり)



- このたびは、業務用ミキシングマシン CUP BLENDERをお買い求めいただきまして誠にありがとうございました。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。
- お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。

お客様用

も く じ

■安全上のご注意	1
■各部のなまえとその働き	4
●本体	4
●付属品	4
●ミキシング部・カップ	5
■設置と運転前の確認	6
■ご使用方法	7
●操作パネルの各部のなまえ	7
●運転の手順	7
●緊急停止の方法	10
●安全装置について	10
●保護装置について	10
●お知らせ表示について	10
●設定変更モードにおける各種操作説明	10
●プログラムのリセット方法	13
●便利な機能	13
■刃物の交換方法	15
■お手入れ	16
●開店時のお手入れ	16
●閉店時のお手入れ	17
■点検	19
■廃棄・譲渡	19
■故障の見分け方と処置方法	20
●エラー表示説明	21
■消耗部品	21
■仕様	22
保証書・アフターサービスについて	巻末

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 分解禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
 プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

警告

お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

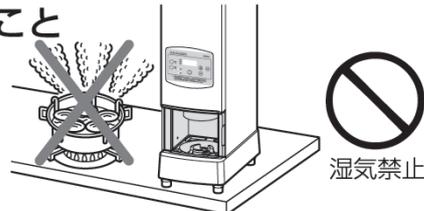
もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を（梱包箱と共に）連絡してください。損傷したまま使用すると、感電、火災、ケガの原因となります。



損傷確認

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）

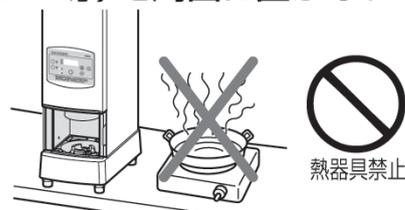


アース線を確実につなぐ

アース工事

熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



熱器具禁止

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードを使用したり、タコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因になります。



禁止

警告

製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。



水掛け禁止

異常時は、電源スイッチを○(切)にして電源プラグを抜き、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

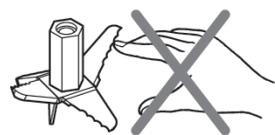
加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

ミキシング室内の掃除や点検のときは必ず電源スイッチを○(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



プラグを抜く

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

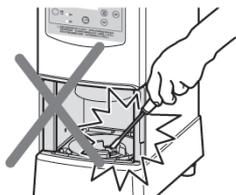
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと(刃物交換・お手入れ作業は除く)

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

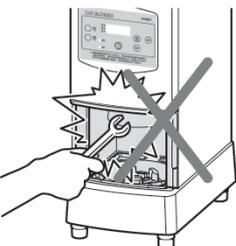
感電の原因になります。



濡手禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造工事をされると、感電、火災の原因になります。



改造禁止

使用中に漏電遮断器が作動した場合には、最寄りの販売会社へ連絡すること

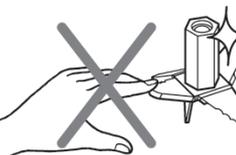
無理に漏電遮断器を入にすると、感電や火災の原因になります。



漏電連絡

刃先に手を触れないこと

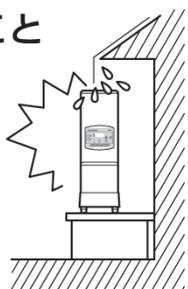
刃物交換の時は専用の刃物取付ホルダー及び刃物交換スパナを使用し、刃先に十分注意してください。触れると手を切り危険です。



禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されると、漏電・感電の原因になります。



屋外禁止

誤った使い方で刃物を損傷した場合は、必ず新しい刃物に交換してください。

損傷した刃物を使い運転を続けると故障や異物混入の原因になります。



使用禁止

⚠ 注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

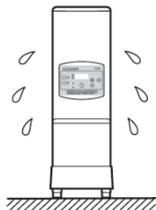
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平設置

水滴が落ちてもしよいところに据え付けること

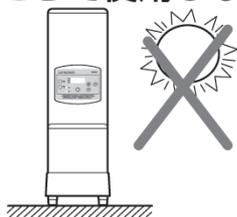
調理中の水滴などで周囲を濡らすことがあります。



設置場所

直射日光の当たるところで使用しないこと

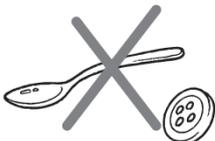
プラスチックが割れたりして危険です。



禁止

カップの中には調理物以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）は入れないこと

モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。



異物禁止

運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチを〇(切)にし、電源プラグを抜き、カップの中に異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）がないことを確認後、必ず捨てること

故障の原因になります。



異物確認

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチを〇(切)にし、電源プラグも抜くこと

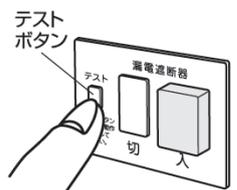
思わぬところに水が入って感電したり、製品が動き出して、ケガの原因になります。



プラグを抜く

漏電遮断機能は月に1回動作確認すること

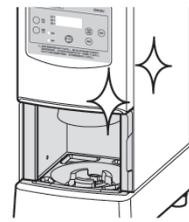
漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。



動作点検

ミキシング室内、各パーツは使用前に必ず掃除をすること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。



掃除

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

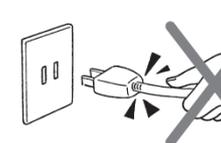
スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

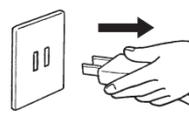
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁止

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチを〇(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。



プラグを抜く

廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること

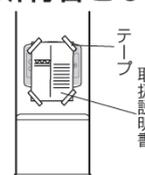
放置しますとケガの原因になることがあります。刃物は危険な物として処理してください。



専門業者

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること

安全で正しい使い方をしていただくために、この取扱説明書を必要な時いつでも読めるようお手元に保管すること



テープ止め



取説保管

各部のなまえとその働き

■使用目的

●本機はジュースまたはフローズンアイスを作るための製品です。

※氷を使う場合は必ずチップアイスをご使用ください。

チップアイス以上の大きさの氷を使用するとモーターと刃物に負荷がかかり、故障の原因となります。

SM500A…注水機能がありません。

SM50WA…注水機能があります。(注水ノズルから注水)

■本体(前面)

操作パネル

調理の操作や各種設定をします。

洗浄カバー

洗浄水をカバーします。

ドア

ドアが開いていると安全スイッチが働き製品が動きません。

センサー(左右2カ所)

カップ又は洗浄カバーの有無を検出します。

プロテクター台座

カッププロテクターを載せます。

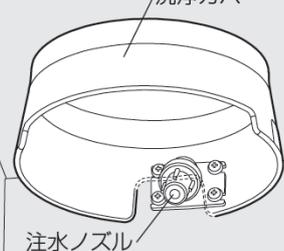
洗浄ノズル

洗浄時に水を噴射します。

スノコ

注水ノズル(洗浄カバーの後ろ)

水を注水します。
※SM50WAのみに付いています。



電源コード

単相AC100Vのコンセントにつなぎます。

アース線

アース工事をします。

■本体(背面)

漏電遮断器

漏電時に自動で電源を切ります。

電源スイッチ

始動・終了の操作に使います。

給水口(洗浄用)

水道を接続します。

ドレンパイプ

付属品の排水ホースを接続します。

給水口(注水用)

水道を接続します。
※SM50WAのみに付いています。

■付属品

カッププロテクター



レギュラーサイズ(R)
(1個)



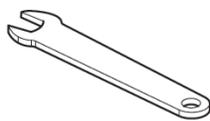
ラージサイズ(L)
(1個)



排水ホース(2m)
(1個)



刃物取付ホルダー
(1個)



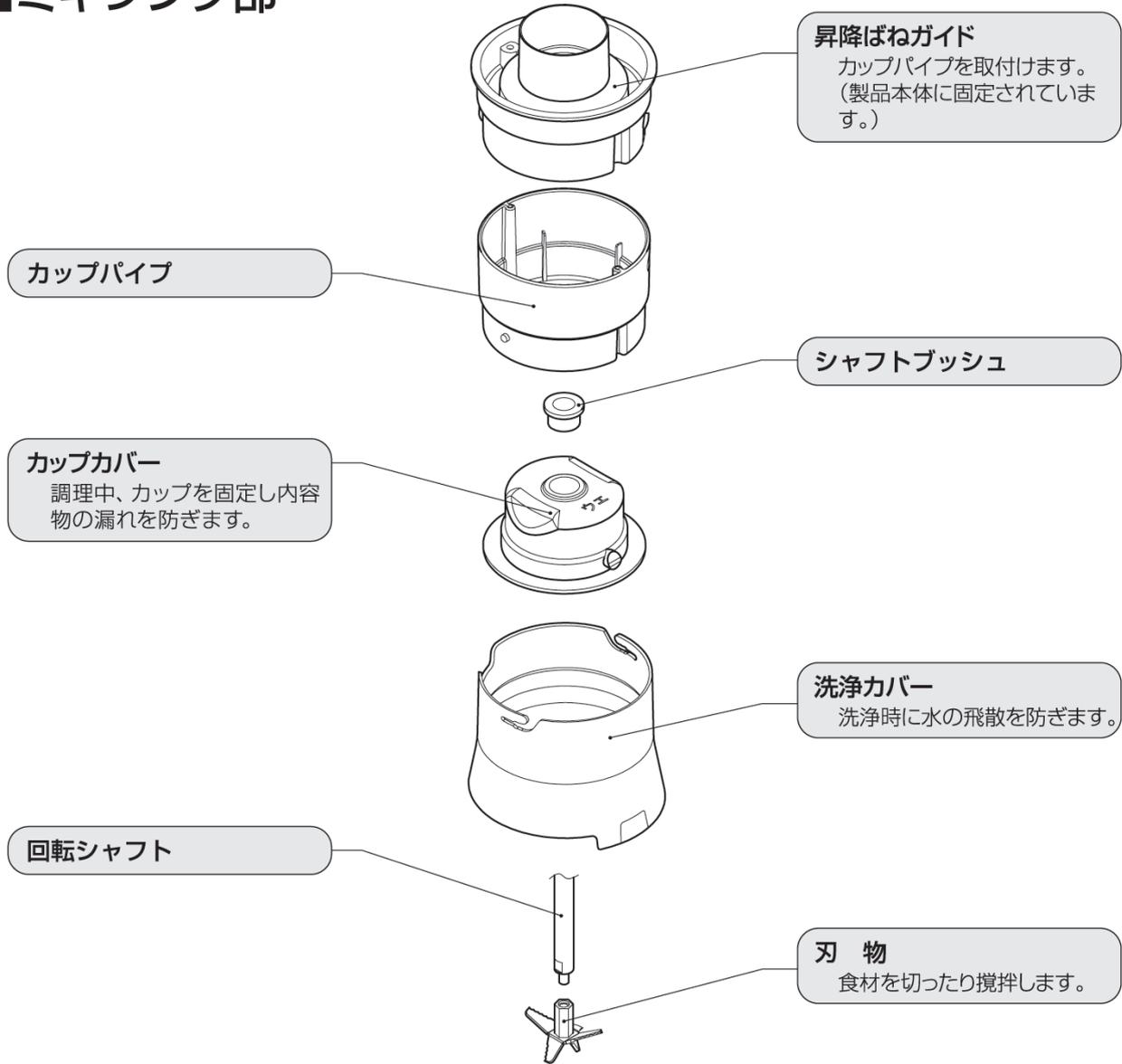
刃物交換スパナ
(1個)



取扱説明書
(本書)

各部のなまえとその働き

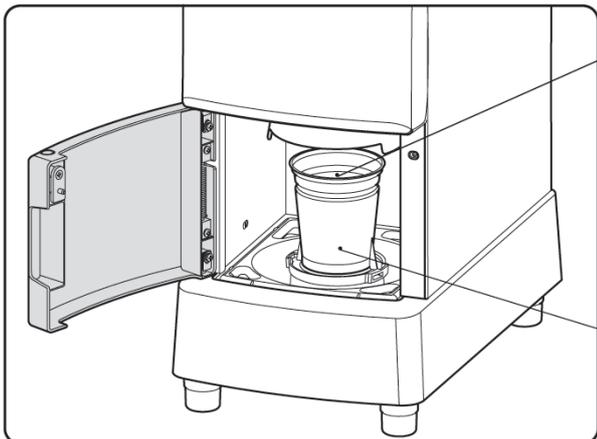
■ミキシング部



各部のなまえとその働き

■カップ

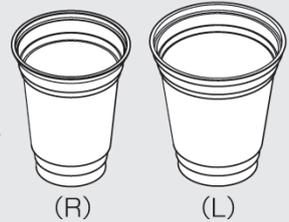
●カップ (別売) は専用のものを必ず、ご使用ください。



専用カップ (別売)

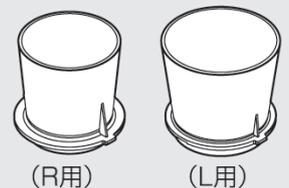
野菜・果実等の食材を入れジュースまたはフローズンアイスをつくります。

レギュラーサイズ (R)
ラージサイズ (L)
の2種類があります。
旭化成 R: CIP-332D
L: BIP-432D



カッププロテクター

調理の際、カップの変形を防ぎ強度を保ちます。



設置と運転前の確認

■運転前の確認

- 電源は交流100Vに接続してください。

使用電源電圧は90V～110Vでお使いください。但し発電機は使用しないでください。発電機使用時の故障は保証いたしません。

- 初めてお使いになる時や開店時には、ほこり、ゴミなどがミキシング室に入っている恐れがありますので、給排水の接続後、手動洗浄モードで掃除をしてください。

(給排水の接続…下図参照 手動洗浄モード…P.13参照)

■給排水の接続

- 製品を安定した平らな面に水平に設置してください。
- 給水口と水道をフレキ管や給水ホース（別途）などで接続してください。

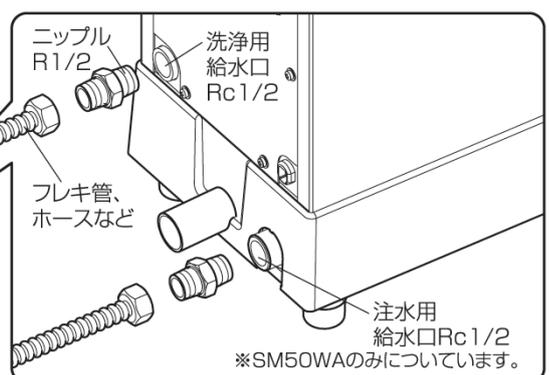
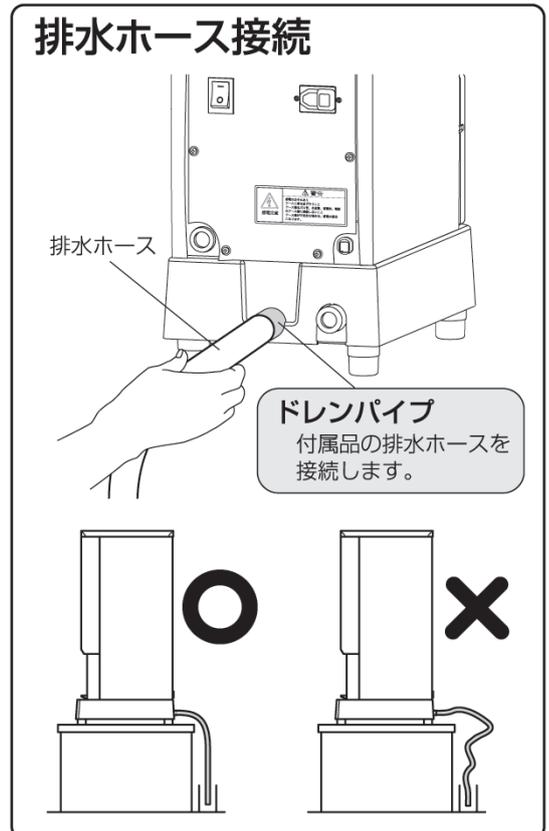
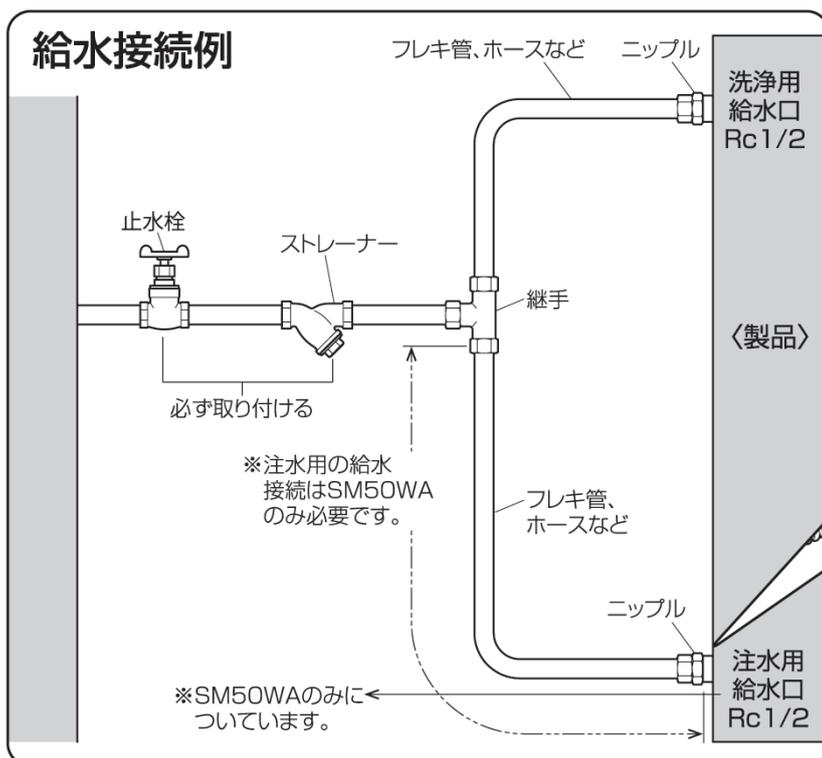
※SM50WAのみに注水用の給水口がついています。

- ①製品背面の給水口キャップを外し水道を接続します。その際、必ず止水栓とストレーナー（別途）を取り付けてください。また、必ず水圧を0.2～0.75MPaに設定してください。
- ②水道の止水栓を開いてください。

ご注意

- 接続時には水漏れに注意して接続してください。
- ドレンパイプと付属の排水ホースを接続してください。

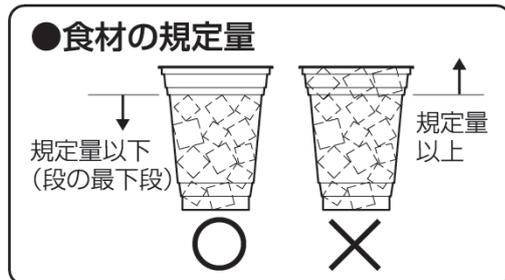
- ①製品下部のドレンパイプに付属品の排水ホースを差し込み、しっかり固定します。
- ②排水ホースの先は折れ曲がらないよう、排水溝などに設置してください。



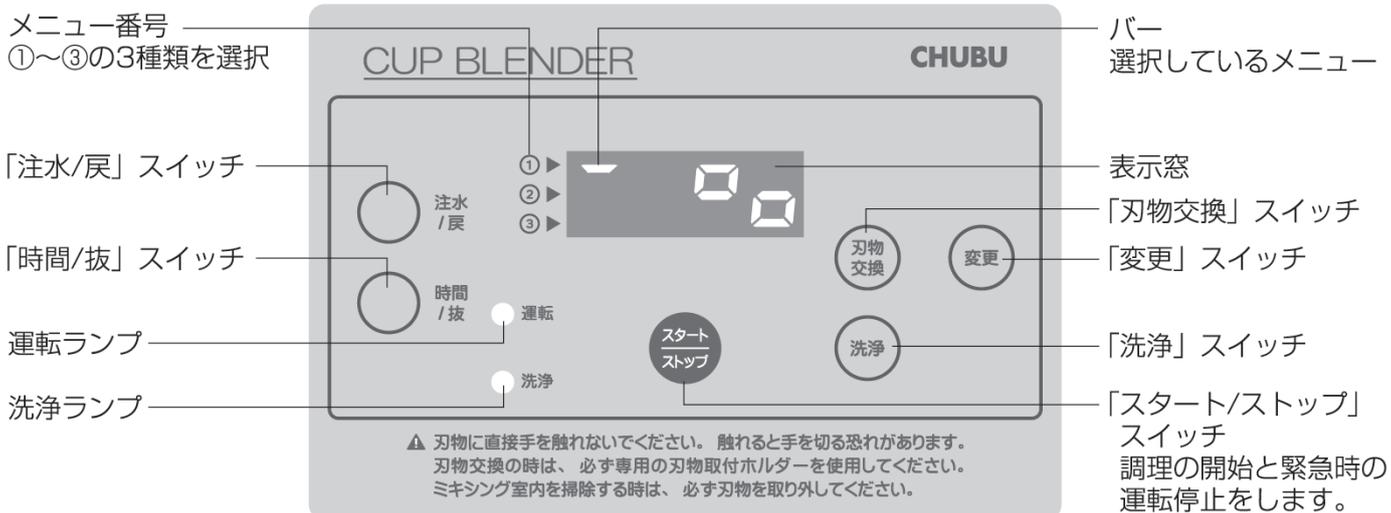
ご使用方法

ご注意

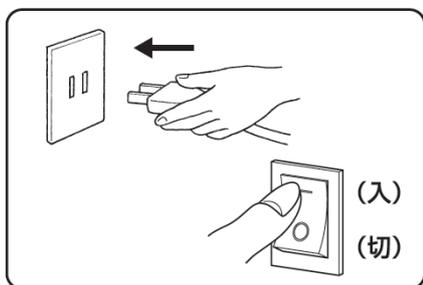
- カップは下記の専用のものを必ず、ご使用ください。
・専用カップ…旭化成 CIP-332D(Rレギュラーサイズ)
BIP-432D(Lラージサイズ)
- 果物や野菜などは15ミリ角以内のサイズに切ってください。
また、氷をご使用の際は必ず、チップアイスをご使用ください。
- 食材をカップへ入れる量は必ず、規定量以内に収まるよう、入れてください。(右図参照) 規定量以上入ると、機器やカップを破損する恐れがあります。
- カッププロテクターを正しくセットしてください。正しくセットされていないと、機器やカップを破損する恐れがあります。
- カップを直接、冷凍または加熱しないこと、カップを破損する恐れがあります。
- 必ず、カッププロテクターを使用してください。カップを破損する恐れがあります。
- 必ず、カップのサイズに応じたカッププロテクターを使用してください。



■操作パネルの各部のなまえ



■運転の手順 (自動洗浄モード時)

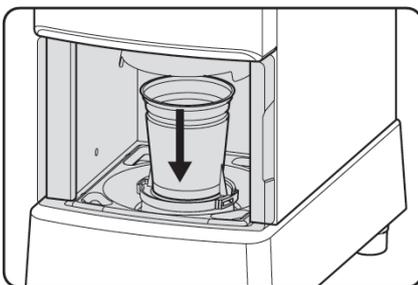
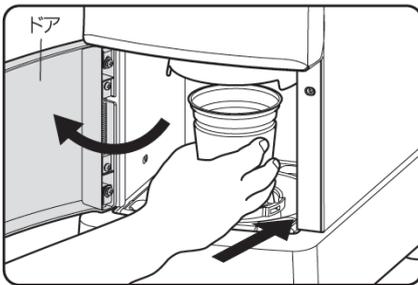


1 電源スイッチが○「切」になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを－(入)にする。



2 メニューの選択をする。
●操作パネルの【変更】スイッチを二度押しすると、表示窓の左側のバー表示が動き①～③のメニューを選択できます。標準設定の運転時間

SM500A	SM50WA
メニュー①…34秒	メニュー①…40秒
メニュー②…40秒	メニュー②…45秒
メニュー③…45秒	メニュー③…50秒



3 カップに食材とベースドリンクを入れ、カッププロテクターにセットする。

●食材の野菜・果物などは15ミリ角以内のサイズに切り、食材とベースドリンクの投入量はカップ上部の段の最下線までに均一に入れてください。かたよりは振動の原因になります。

※食材が大きすぎたり、堅すぎたり、投入量が多すぎると調理中にカップから溢れたり、カップカバーを傷つけたり、漏れることがあります。メニューに応じて調整してください。

●必ず専用カップのサイズに応じたカッププロテクターを使用してください。

※調理中のカップを保護します。

●必ず氷はチップアイスを使用してください。

※大きいサイズの氷を使うとカップの割れや故障の原因となります。

4 カップ・カッププロテクターを製品にセットする。

●ドアを開けてセットしたカップとカッププロテクターをプロテクター台座にはめ込み、時計方向に回して固定します。

5 調理を開始する。

※SM500Aは注水機能がないため、注水しません。

●操作パネルの【スタート/ストップ】スイッチを押すと、運転ランプ（赤）が点灯し、注水、調理を開始します。

●表示窓にはアニメーションが表示され、注水を開始します。



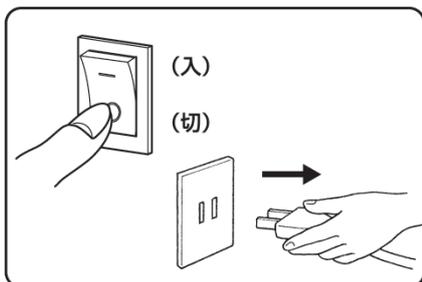
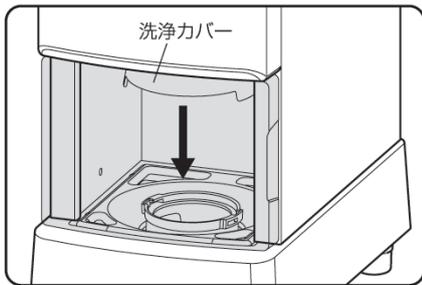
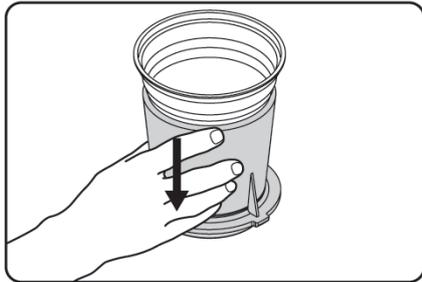
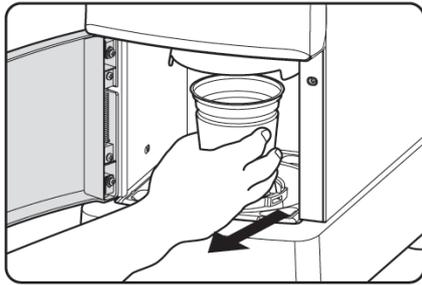
●注水後、表示窓には調理終了までの目安時間（秒）が表示され、自動でドリンクを調理します。調理時間はカウントダウン表示します。



●カップカバーが下降し、カップにセットされます。刃物がカップの中を回転・上下動して、食材・ドリンクを攪拌します。

●攪拌が終了すると刃物は上昇し、定位置に戻り、表示窓には「End」と表示されます。





6 カップを取り出す。

- 調理が終了した後、ドアを開けてカッププロテクターごと反時計方向に回してプロテクター台座から取り外します。

7 カップをカッププロテクターから取り外す。

- 取り出した時、カップがカッププロテクターに密着しています。平らな場所に置き、カッププロテクターを下に下げて取り外します。

8 洗浄を開始する。

- ドアを閉めると、自動で洗浄を開始します。
- 表示窓には洗浄終了までの目安時間(秒)が表示され、運転ランプ(赤)が点灯します。
(洗浄時間はカウントダウン表示します。)



- 洗浄カバーが下降した後、洗浄ノズルから水が噴射し、刃物やカップカバーを洗浄します。

- 洗浄が終了すると洗浄カバーが上昇し、ブザーが鳴ります。表示窓には「End」と表示され、運転ランプ(赤)が消灯すると、停止します。



- 停止後、しばらくすると表示窓にはアニメーション(待機状態)が表示され、次の調理が可能となります。



9 使用後は電源スイッチを○(切)にし、電源プラグを抜く。

■緊急停止の方法



- 運転中にカップが潰れるなど、緊急で運転を停止したい時は、操作パネルの【スタート/ストップ】スイッチを長押し（3秒以上）してください。運転を強制停止することができます。

■安全装置について

- 運転中は危険防止のため、ドアが自動ロックされていて開きません。
- ドアが開いていると危険防止のため、安全スイッチが働かず製品は作動しません。

■保護装置について

- モーターに負荷がかかり過ぎたり、長時間連続運転をすると、安全のためモーターに内蔵されたプロテクターが作動して、自動的に製品が止まります。作動した時は、電源スイッチを○(切)にして、コンセントから電源プラグを抜き、過負荷の原因を取り除き、1時間ほど製品を放置（冷ます）してください。
- 漏電遮断器により漏電時に自動で電源を切ります。漏電遮断器が働いた時はP.19の点検を参照し復帰してください。

■お知らせ表示について



- 攪拌用モーターのブラシ（消耗品）が交換時期になると、運転待機時の表示窓に「inF」（Information）の文字が点滅表示されます。表示窓に「inF」が表示されたら、販売会社へ連絡して、ブラシの交換を依頼してください。交換せずに使用すると攪拌用モーターが動かなくなることがあります。

■設定変更モードにおける各種操作説明

- 本機は標準プログラムを工場出荷時に設定してありますが、ご希望のオリジナルメニュー・調理に合わせて、運転プログラム（メニュー①、②、③）および洗浄プログラムを変更し、設定することができます。

※プログラムの設定を変更すると電源を切っても変更後のプログラムが保存されます。

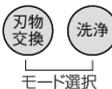
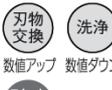
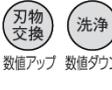
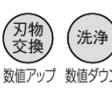
※プログラムの設定を変更した後、設定をリセット（工場出荷時に戻す）したい時はP.13を参照してください。

●設定用スイッチの説明

スイッチ種類	スイッチ機能	スイッチ種類	スイッチ機能
刃物交換 スイッチ	押すと、数値がアップします。 (長押しで早送りします。)	時間/抜 スイッチ	長押し(3秒以上)すると、設定変更モードを抜け、待機前の状態に戻ります。
洗浄 スイッチ	押すと、数値がダウンします。 (長押しで早送りします。)	スタート/ストップ スイッチ	押すと、選択した項目を決定します。
注水/戻 スイッチ	押すと、前の項目へ戻ります。		

●プログラムの設定変更の操作手順

ステップ	No.	操作内容	使用スイッチ	表示窓の表示	機械動作 他
設定変更モードに入る	1	【変更】スイッチを長押しします。(3秒以上) 表示窓に「P.SET」と表示されたら【変更】スイッチを離し、【スタート/ストップ】スイッチを押して設定変更モードに入ります。	  決定	 (点灯)	
駆動パラメータの選択	2	変更したい運転モード(①、②、③)または洗浄モードを選択し、決定します。 洗浄モードを選択した場合はNo.10以降の操作を行なってください。	  モード選択  決定	運転モード①  (点灯) 運転モード②  (点灯) 運転モード③  (点灯) 洗浄モード  (点灯)	
運転プログラムの設定変更	3	プログラムの最終ステップ数を設定し、決定します。 表示窓に「Fn.※※」(Finish number)と表示され、※※部に最終ステップ番号を表示します。 設定可能範囲：0～32(0は調理運転しません)	  数値アップ 数値ダウン  決定	 (点灯)	現設定値を表示
	4	これから設定するプログラムのステップ番号を選択し、決定します。 表示窓に「St.※※」(Step)と表示され、※※部に設定するステップ番号を表示します。 設定可能範囲：1～No.3で設定したステップ数 ※No.3で0を設定した場合は設定できません。	  数値アップ 数値ダウン  決定	 (点灯)	現設定値を表示
	5	No.4で選択したステップの攪拌位置を設定し、決定します。 表示窓に「P.※※※」(Position)と表示され、※※※部に設定する攪拌位置を表示します。 設定可能範囲：50～200mm	  数値アップ 数値ダウン  決定	 (点灯)	現設定値を表示
	6	No.5で設定した攪拌位置までに到達するスピードを設定し、決定します。 表示窓に「SP.※※」(Speed)と表示され、※※部に設定する到達スピードを表示します。 設定可能範囲：1～35mm/秒	  数値アップ 数値ダウン  決定	 (点灯)	現設定値を表示
	7	No.5で設定した攪拌位置における停止時間を設定し、決定します。 表示窓に「t.※※※」(Time)と表示され、※※※部に設定する停止時間を表示します。 設定可能範囲：0～99秒	  数値アップ 数値ダウン  決定	 (点灯)	現設定値を表示
	8	No.5で設定した攪拌位置における攪拌回転割合を設定し、決定します。 (数値が大きい程、攪拌の回転が速くなります。) 表示窓に「r.※※※」(Rotation)と表示され、※※※部に設定する回転割合を表示します。 設定可能範囲：0～100%(5%単位)0は回転停止。	  数値アップ 数値ダウン  決定	 (点灯)	現設定値を表示

ステップ	No	操作内容	使用スイッチ	表示窓の表示	機械動作 他
運転プログラムの設定変更	9	自動でNo.4へ戻り、次のステップのプログラムを設定することができます。引き続き運転プログラムの設定変更を行なう場合はNo.4～8の操作を繰り返します。最終ステップを設定すると、No.2へ戻ります。		St. 2 (点灯)	次のステップ数を表示
洗浄プログラムの設定変更	10	No.2で洗浄モードを選択し、決定します。	 刃物交換 洗浄 モード選択  スタート/ストップ 決定	CLEN (点灯)	
	11	プログラムの最終ステップ数を設定し、決定します。表示窓に「Fn.※※」(Finish number)と表示され、※※部に最終ステップ番号を表示します。設定可能範囲：0～8(0は洗浄運転しません)	 刃物交換 洗浄 数値アップ 数値ダウン  スタート/ストップ 決定	Fn. 3 (点灯)	現設定値を表示
	12	これから設定するプログラムのステップ番号を選択し、決定します。表示窓に「St.※※」(Step)と表示され、※※部に設定するステップ番号を表示します。設定可能範囲：1～No.11で設定した最終ステップ番号※No.11で0を設定した場合は設定できません。	 刃物交換 洗浄 数値アップ 数値ダウン  スタート/ストップ 決定	St. 1 (点灯)	現設定値を表示
	13	No.12で選択したステップの洗浄する刃物位置を設定し、決定します。表示窓に「P.※※※」(Position)と表示され、※※※部に設定する刃物位置を表示します。設定可能範囲：100～150mm	 刃物交換 洗浄 数値アップ 数値ダウン  スタート/ストップ 決定	P. 140 (点灯)	現設定値を表示
	14	No.13で設定した刃物位置までに到達するスピードを設定し、決定します。表示窓に「SP.※※」(Speed)と表示され、※※部に設定する到達スピードを表示します。設定可能範囲：1～35mm/秒	 刃物交換 洗浄 数値アップ 数値ダウン  スタート/ストップ 決定	SP. 35 (点灯)	現設定値を表示
	15	No.13で設定した刃物位置における停止時間を設定し、決定します。表示窓に「t.※※※」(Time)と表示され、※※※部に設定する停止時間を表示します。設定可能範囲：0～99秒	 刃物交換 洗浄 数値アップ 数値ダウン  スタート/ストップ 決定	t. 20 (点灯)	現設定値を表示
	16	No.13で設定した刃物位置到達時における刃物回転割合を設定し、決定します。※数値が大きい程、刃物の回転が速くなります。表示窓に「r.※※※」(Rotation)と表示され、※※※部に設定する回転割合を表示します。設定可能範囲：0～100%(5%単位)0は回転停止。	 刃物交換 洗浄 数値アップ 数値ダウン  スタート/ストップ 決定	r. 0 (点灯)	現設定値を表示
	17	No.13で設定した刃物位置における洗浄水用バルブの開閉を設定し、決定します。表示窓に「V.※※※」(Valve)と表示され、※※※部に設定するon(開) 又はoFF(閉)の文字を表示します。onは洗浄水の放水、oFFは止水を行ないます。	 刃物交換 洗浄 数値アップ 数値ダウン  スタート/ストップ 決定	V. on (点灯) V. oFF (点灯)	現設定内容を表示

ステップ	No.	操作内容	使用スイッチ	表示窓の表示	機械動作 他
洗浄プログラムの設定変更	18	自動でNo.12へ戻り、次のステップのプログラムを設定することができます。引き続き洗浄プログラムの設定変更を行なう場合は、No.12～16の操作を繰り返します。最終ステップを設定すると、No.2へ戻ります。		 (点灯)	次のステップ数を表示
設定変更モードの終了	19	【時間/抜】スイッチを長押し(3秒以上)すると、設定変更モードを終了します。		 (アニメーション)	待機状態

■プログラムのリセット方法

●プログラムの設定を変更した後、設定をリセット(工場出荷時に戻す)したい時に行います。

1. 電源スイッチが○(切)になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込みます。
2. 【スタート/ストップ】スイッチと【変更】スイッチの2個のスイッチを押した状態で、電源スイッチを—(入)にすると、ブザーが鳴り、リセットできます。(表示窓には「P.rSt」と表示されます。)

■便利な機能

【洗浄モードの切換え】

- 自動洗浄モードと手動洗浄モードの切換えができます。
自動洗浄モード…調理運転後に自動で洗浄をします。
手動洗浄モード…調理運転または洗浄を単独で行います。

No.	操作内容	使用スイッチ	表示窓の表示
1	【洗浄】スイッチを先に押した状態で【スタート/ストップ】スイッチを押し、2個のスイッチを押した状態で長押し(3秒以上)することにより洗浄モードの切換えができます。「Auto」表示で自動洗浄モードとなり、「HAnd」表示で手動洗浄モードとなりますので選択をします。		 (点灯)  (点灯)
2	手動洗浄モードの選択の決定は【洗浄】スイッチを押します。 ※表示窓のバー表示が消えます。		 (アニメーション)
3	【スタート/ストップ】スイッチを押すと運転ランプ(赤)が点灯し、表示窓のカウントダウンが始まり、洗浄を開始します。		 (カウントダウン)
4	表示窓の表示が「End」となり、運転ランプ(赤)が消灯すると、洗浄が終了し、待機状態に戻ります。		 (点滅)  (アニメーション)

【調理の単独運転】

- 自動洗浄をせずに調理のみの運転を行なうことができます。

No.	操作内容	使用スイッチ	表示窓の表示
1	【洗浄】スイッチを先に押した状態で【スタート/ストップ】スイッチを押し、2個のスイッチを押した状態で長押し(3秒以上)し、手動洗浄モードを選択します。		 (点灯)
2	【注水/戻】スイッチを押すと調理の単独運転となりますので、決定します。		 (アニメーション)
3	【変更】スイッチを二度押ししてメニュー①～③を選択します。		 (アニメーション)
4	カップをセットし、【スタート/ストップ】スイッチを押すと、運転ランプ(赤)が点灯し、調理のみの運転を開始します。		 (カウントダウン)
5	表示窓の表示が「End」となり、運転ランプ(赤)が消灯すると、調理が終了します。		 (点滅)
6	カップを取り出すと、待機状態に戻ります。		 (アニメーション)

【自動洗浄モード時の手動洗浄】

- 自動洗浄モードを選択していても手動で洗浄することができます。

No.	操作内容	使用スイッチ	表示窓の表示
1	【洗浄】スイッチを長押し(3秒以上)します。		(アニメーション)
2	表示窓のカウントダウンが始まり、運転ランプ(赤)が点灯し、洗浄を開始します。 ※表示窓のバー表示が消えます。		(カウントダウン)
3	表示窓の表示が「End」となり、運転ランプ(赤)が消灯すると、洗浄が終了します。		(点滅)
4	洗浄終了後に自動洗浄モードに戻り、待機状態となります。 ※表示窓にバーが表示されます。		(アニメーション)

【手動注水機能】(SM50WAのみ)

- 手動で注水のみを行なうことができます。

No.	操作内容	使用スイッチ	表示窓の表示
1	【注水/戻】スイッチを長押しすると押し続けている間、注水を行ないます。		(カウントアップ)
2	スイッチを離すと注水が終了し、待機状態に戻ります。		(アニメーション)

【カウンター表示】

- 運転回数、洗浄回数、刃物交換回数の確認とリセットができます。

No.	操作内容	使用スイッチ	表示窓の表示
1	確認したいメニュー①～③を選択します。【変更】スイッチを二度押しで選択できます。		(アニメーション)
2	【変更】スイッチと【刃物交換】スイッチを同時に押しします。 運転・洗浄ランプは消灯します。	 + 	(点灯)
3	確認したい項目を選択します。 ●運転回数 【注水/戻】スイッチを押す。 ●洗浄回数 【洗浄】スイッチを押す。 ●刃物交換回数 【刃物交換】スイッチを押す。	 	(点灯) 回数を表示
4	表示中の回数をリセットしたい場合は、表示で使用した各スイッチを長押し(3秒以上)します。 ブザーが鳴り、選択中の項目の回数がリセットされます。	 	(点灯)
5	【時間/抜】スイッチを押すと、カウンター表示から抜けます。		(アニメーション)

【自動注水時間の変更】(SM50WAのみ)

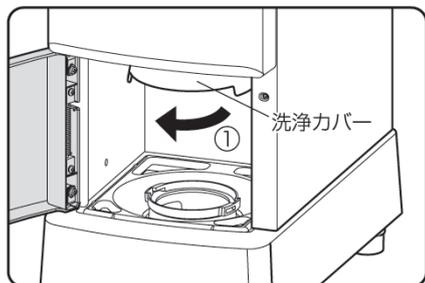
- 自動注水時の注水時間を変更し、設定することができます。

No.	操作内容	使用スイッチ	表示窓の表示
1	設定時間を表示します。 【時間/抜】スイッチを長押し(3秒以上)すると設定されている時間が点滅表示されます。		(点滅)
2	注水時間を設定し、決定します。 設定可能範囲:0~25.5秒	 数値アップ 数値ダウン 決定	

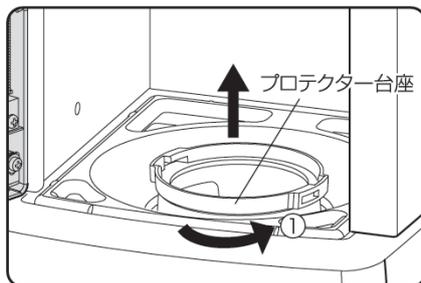
刃物の交換方法

お願い

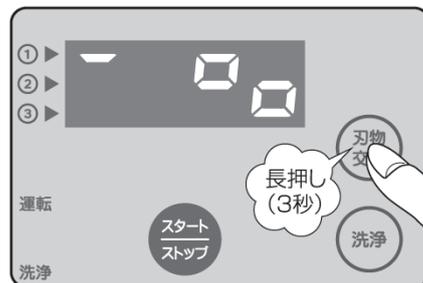
●ケガ防止のため、刃物の取り外しは手袋をはめて行ってください。刃物に直接手を触れないようにしてください。



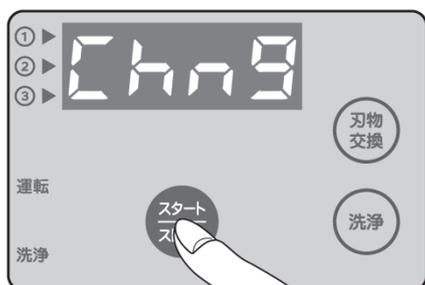
1 ドアを開け、洗浄カバーを矢印①の方向に回し、取り外してください。



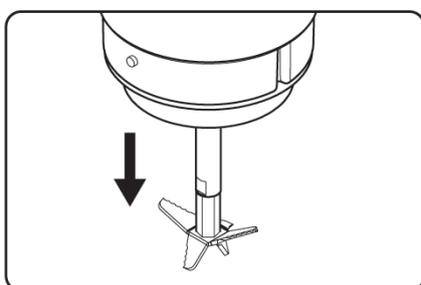
2 プロテクター台座を矢印①の方向に回し、持ち上げて取り外してください。



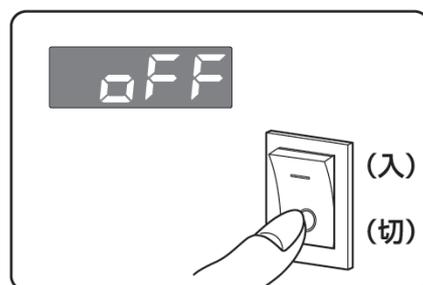
3 ドアを閉め、操作パネルの【刃物交換】スイッチを長押し(3秒以上)してください。



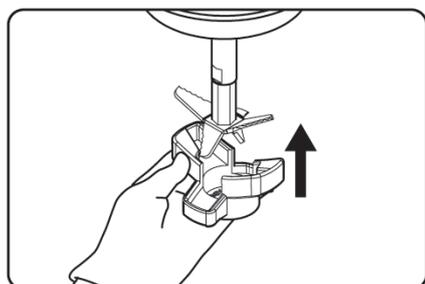
4 表示窓に『Chng』と表示されたら、【スタート/ストップ】スイッチを押してください。



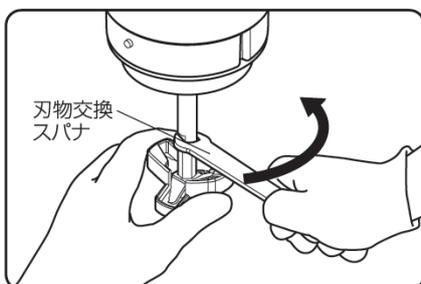
5 刃物が下降してきます。
※ドアにロックがかかります。



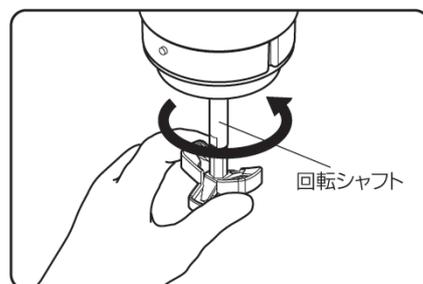
6 表示窓に『OFF』と表示されたら、背面にある電源スイッチを○「切」にして下さい。
※電源を○「切」にすると、ドアロックが解除されます。



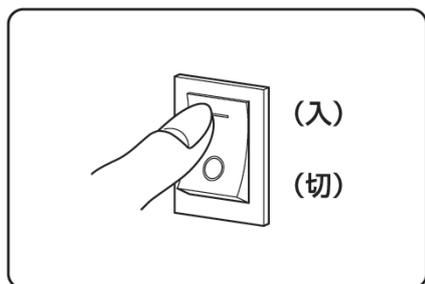
7 ドアを開け、刃物に付属の刃物取付けホルダーを下から被せるように引掛けてください。



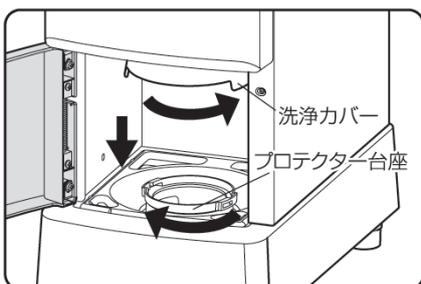
8 刃物取付けホルダーを指で押さえ、付属のスパナを回転シャフトに引っ掛け、矢印方向に回してください。



9 刃物が緩みましたら、回転シャフトを矢印方向に回転させ、取り外し、逆の手順で新しい刃物を取り付けてください。



10 ドアを閉めて、背面の電源スイッチを-(入)にすると自動で刃物が上昇し、定位置に戻ります。



11 取外しと逆の手順でプロテクター台座、洗浄カバーを取り付けてください。

※洗浄カバーを取り付ける時はP.18の注意文を参照ください。

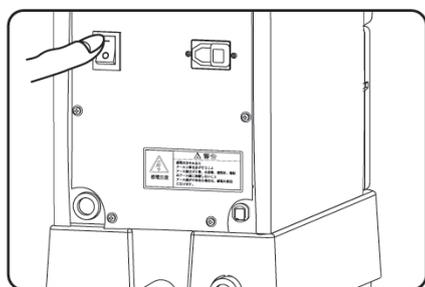
お手入れ

お願い

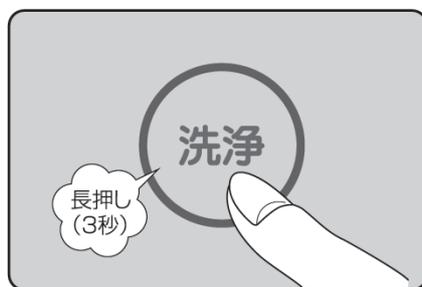
- 開店時と閉店時は必ずお手入れをしてください。ほこりやゴミがあったり、食材が残っていると衛生的によくありません。
- ケガ防止の為、刃物の取り外しは手袋をして行ってください。刃物に直接手を触れないようにしてください。
- 40℃以上のお湯で洗ったり、食器洗浄機、乾燥機、消毒保管庫などを使用しないでください。部品が変形してしまいます。
- プラスチック部には、次のようなものは使用しないでください。プラスチック面をいためます。シンナー、ベンジン、アルコール、石油、粉石けん、みがき粉、アルカリ性洗剤、次亜塩素酸ソーダ、たわしなど。
- 化学雑巾をご使用の際は、その「使いかた」に従ってください。

■開店時のお手入れ（自動洗浄モード時）

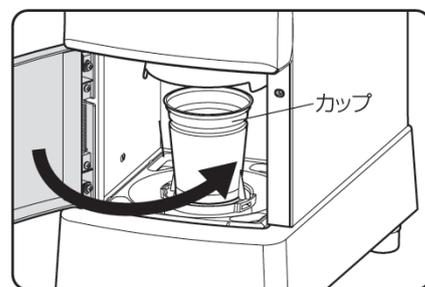
※SM500Aは注水機能がないため3～5の操作はありません。



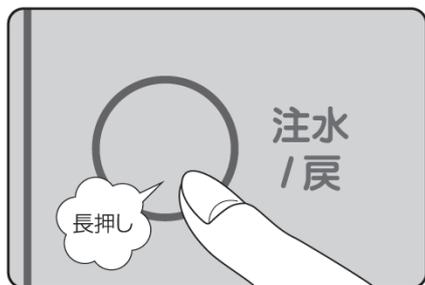
- 1** 開店時、背面にある電源スイッチを-(入)にしてください。



- 2** 【洗浄】スイッチを長押し(3秒以上)し、手動洗浄で掃除をしてください。



- 3** カップをカッププロテクターに入れて、製品のプロテクター台座に載せ、セットしてください。



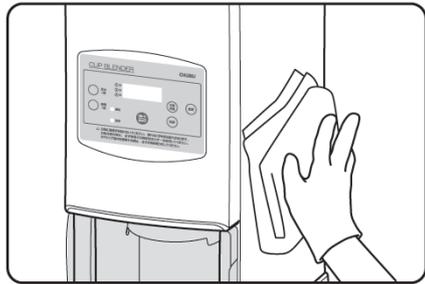
- 4** 【注水/戻】スイッチを長押しし、5～6秒間、注水してください。



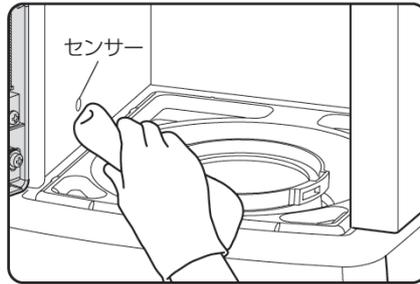
- 5** ドアを開け、カップを取り出した後、ドアを閉めてください。

■閉店時のお手入れ

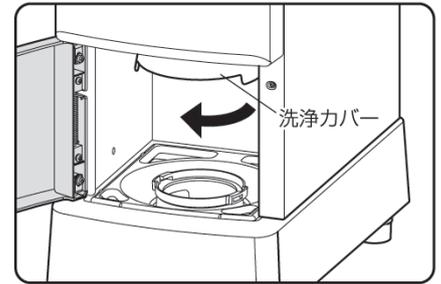
※SM500Aは注水機能がないため5の操作はありません。



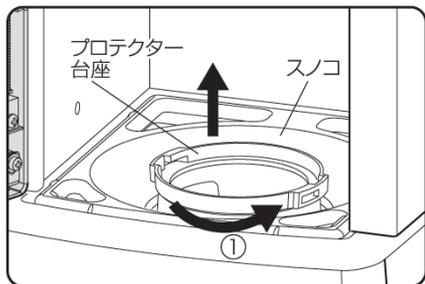
1 本体の外部を、清潔な布などで拭き取りをしてください。



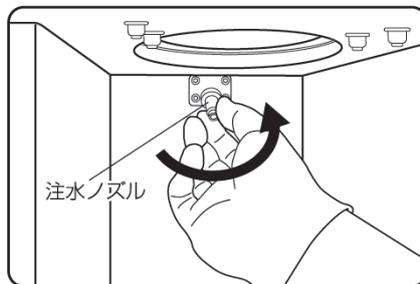
2 ドアを開け、センサー(左右2カ所)を清潔な布などで拭き取りをしてください。



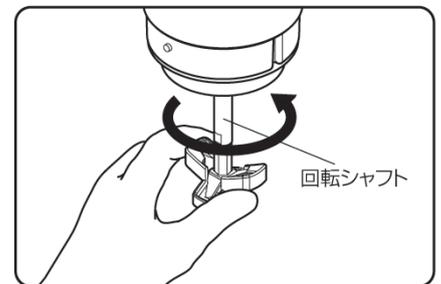
3 洗浄カバーを矢印の方向に回し、取り外してください。



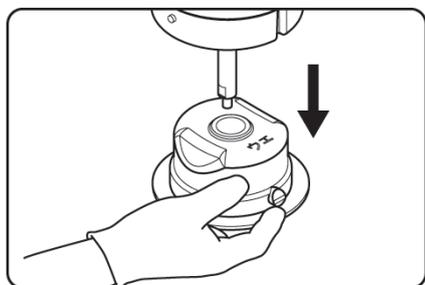
4 スノコを持ち上げて取り外し、プロテクター台座を矢印①の方向に回して取り外してください。



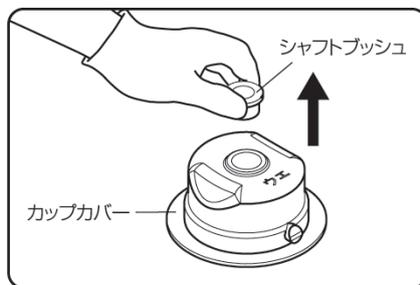
5 注水ノズルを矢印の方向に回して取り外してください。



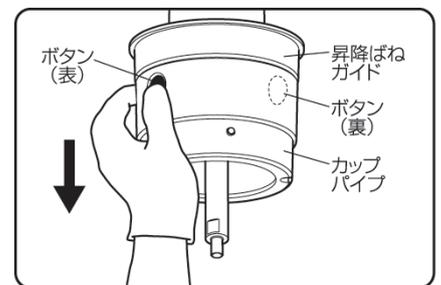
6 P.15「刃物の交換方法」の③～⑨を参照し、刃物を取り外してください。



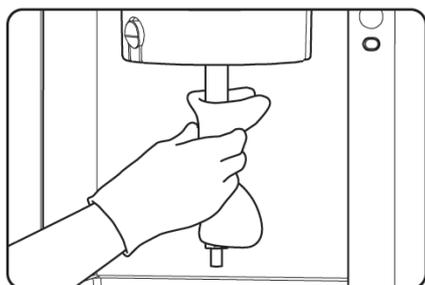
7 刃物を取り外した後、カップカバーを下に引っ張り、取り外してください。



8 カップカバーの中心にある、シャフトプッシュを上から取り外してください。



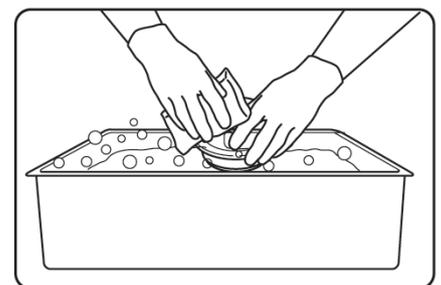
9 昇降ばねガイドの表と裏のボタン2箇所を押しながら、カップパイプを下に引っ張り、取り外してください。



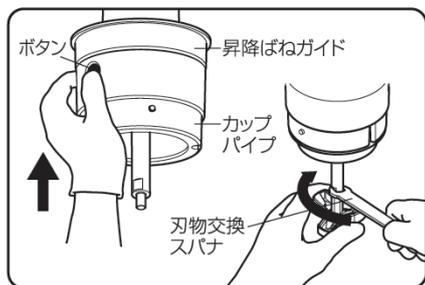
10 回転シャフト部を清潔な布などで、清掃してください。



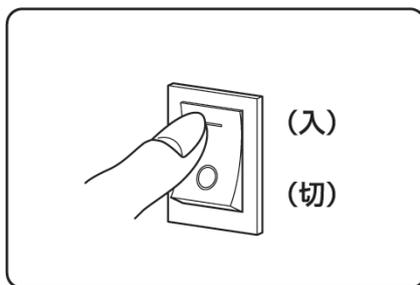
11 ミキシング室と昇降ばねガイドの内側を清潔な布などで、清掃してください。



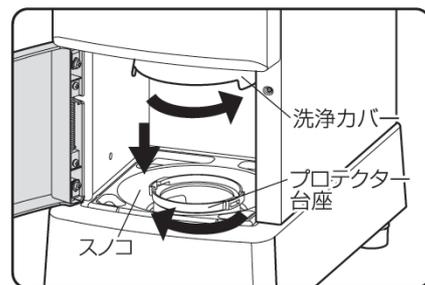
12 取り外した各パーツは、水で薄めた中性洗剤と柔らかいスポンジなどで洗った後、よく水洗いして乾いた布で水分をよく拭き取ってください。



13 部品乾燥後、取り外しと逆の手順(⑥～⑨)でカップパイプ、シャフトブッシュ、カップカバー、刃物を組み立ててください。

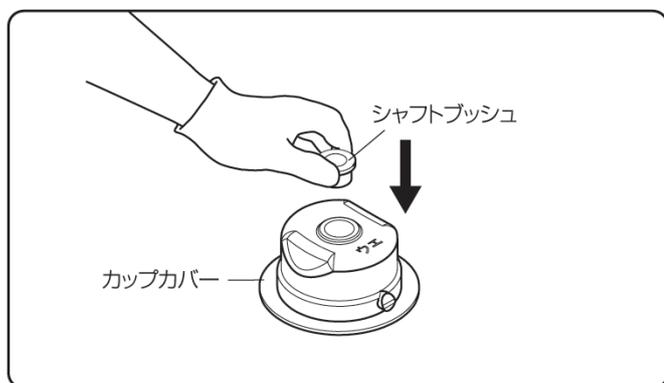


14 ドアを閉めて、背面の電源スイッチを-(入)にすると、自動で刃物が上昇し、定位置に戻ります。

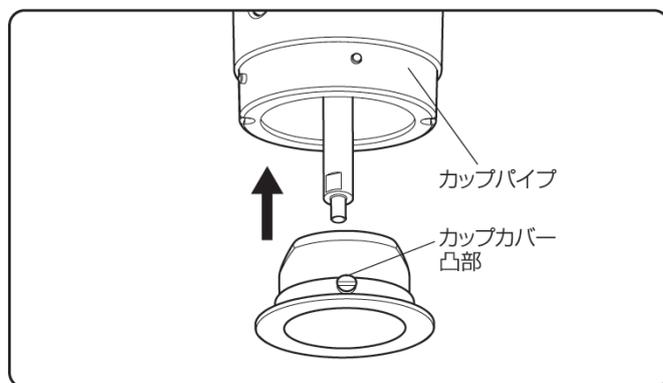


15 取り外しと逆の手順(③～⑤)で注水ノズル、プロテクター台座、スノコ、洗浄カバーを組み立ててください。

●カップカバーを取り付けるときの注意

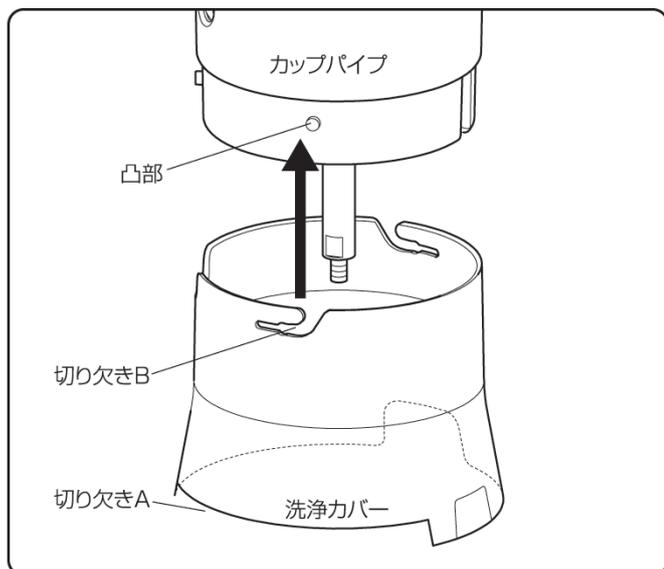


- ・シャフトブッシュの取り付けを忘れないでください。
- ・シャフトブッシュはカップカバーの「ウエ」と表示されている面から取り付けてください。

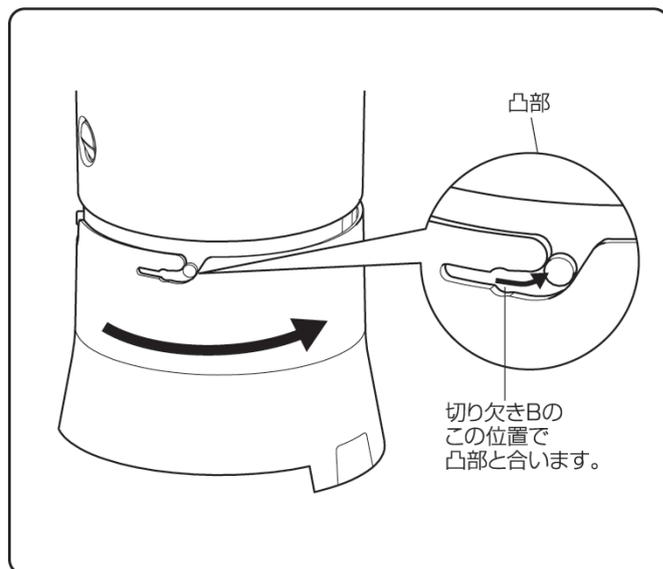


- ・カップカバーの凸部が手前に見えるようにしてカップパイプへ押しながら入れてください。入れた後、カップカバーの凸部を内側から押してカップパイプに確実に引っかかるようにしてください。

●洗浄カバーを取り付けるときの注意



- ・洗浄カバーは切り欠きAの向きを手前側にし、持ち上げて、切り欠きBをカップパイプの凸部に入れてください。



- ・洗浄カバーを矢印の方向に回して『カチッ』とした手ごたえで止まる位置まで回します。

点検

■1年に1～2回の点検

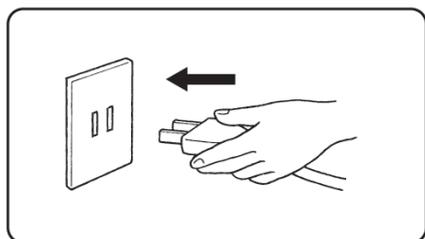
アース線の点検

- アース線が切れたり、接続部がゆるんでいませんか？
異常がある場合は、電気工事店に依頼してください。

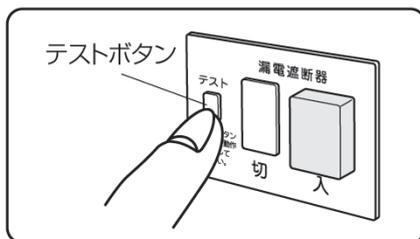
電源プラグの点検

- 電源プラグが専用のコンセントに入っていますか？
他の機器を共用している場合は専用電源にしてください。
- 傷、変形、破損、接続部のゆるみ、異常な発熱がありませんか？
重い物が載ったり、はさみ込まれたりしていませんか？異常のある場合は、販売会社に修理を依頼してください。
- 電源プラグの刃の取付面およびコンセントにほこりがついていませんか？
掃除をしてください。

■1カ月に1回の点検 漏電遮断機能確認



- 1 電源プラグをコンセントに差し込んでください。



- 2 電源スイッチが○(切)になっていることを確認してから製品背面の漏電遮断器のテストボタン(灰色小)を押してください。「入」ボタン(青色大)が出てくれば、正常に動作しています。



- 3 「入」ボタン(青色大)を押し、「入」ボタンが押し込まれた状態であることを確認してから引き続き、ご使用ください。

お願い

「入」ボタン(青色大)が出てこない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてすぐに最寄りの販売会社へご連絡ください。

譲渡・廃棄

■譲渡

⚠ 注意

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止めすること



テープ止め

■廃棄

⚠ 注意

廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。



専門業者

故障の見分け方と処置方法

お願い

●故障かな?と思ったら、次のことをお調べください。それでも不具合が直らないときは、販売会社へご連絡ください。販売会社へ連絡するときは、型式・製造番号・据付年月日と故障状況をお知らせください。

症 状	お調べいただきたいところ	処 置 方 法
電源が入らない	●電源プラグが抜け落ちていませんか?	●コンセントを差し込んでください。
	●電源スイッチが〇(切)になっていませんか?	●電源スイッチを-(入)にしてください。
	●漏電遮断器が「切」になっていませんか?	●漏電遮断器を「入」にしてください。
食材を攪拌しない	●刃物が付いていますか?	●刃物を付けてください。(P.15参照)
攪拌モーターが動かない	●表示窓にお知らせ表示「inF」がでていませんか? (攪拌モーターのブラシ(消耗品)交換時期のお知らせ)	●販売会社までご連絡ください。(P.10参照)
上手く調理できない (食材が上手く切れずに残る)	●食材のサイズが大きすぎませんか?	●食材を15mm以下のサイズにしてください。(P.7参照)
	●食材の量が多すぎませんか?	●食材をカップの最下段以下の量にしてください。(P.7参照)
	●攪拌時間が短くありませんか?	●設定変更モードからプログラム設定の変更を行なってください。(P.11参照)
調理時にカップが潰れる・割れる・中身があふれる・飛び散る	●カッププロテクターが正しくセットされていますか?	●カッププロテクターを正しくセットしてください。(P.8参照)
	●カップカバーは付いていますか?	●カップカバーを付けてください。(P.18参照)
洗浄・注水の時、水が出ない 水量が少ない	●水道栓・給水バルブが閉まっていますか?	●水道栓・給水バルブを開けてください。
	●ノズルがつまっていますか?	●つまりの原因を取り除いてください。
	●給水の水压設定は正しいですか?	●規定の水压(0.2~0.75MPa)にしてください。
洗浄しない	●手動洗浄モードになっていませんか?	●自動洗浄モードにしてください。(P.13参照)
	●洗浄プログラムのバルブ開閉設定がOFF(閉)になっていませんか?	●ON(開)に設定してください。(P.12参照)
水が止まらない	●ストレーナーは取り付けられていますか?	●ストレーナーを取り付けてください。(P.6参照)
	●給水の接続は確実にできていますか?	●給水の接続を確認してください。
洗浄ができない	●洗浄カバーが付いていますか?	●洗浄カバーを付けてください。(P.18参照)
排水しない	●排水ホースがつまっていますか?	●つまりの原因を取り除いてください。
	●排水ホースの先の排水溝がつまっていますか?	●つまりの原因を取り除いてください。
	●排水ホースが折れ曲がっていませんか?	●折れ曲がらないようにしてください。(P.6参照)
	●排水ホースが上がっていませんか?	●水平より下げてください。(P.6参照)

■エラー表示説明

画面表示	予想される原因	処置方法
CUP	カップがセットされていない	カップをセットしてください
	カップに食材が入っていない	カップに食材を入れてください
	洗浄時にカップが残っている	カップを取り出してください
	カップ検出用のセンサーが汚れている	汚れをふき取ってください。(P.17参照)
not.C	洗浄カバーが付いていない	洗浄カバーを付けてください
door	ドアが開いたままになっている	ドアを閉めてください
	ドアを閉めていても表示される場合、安全スイッチが正しく動作していない	販売会社までご連絡ください
E1	規定の電源を使用していない	規定の電源を使用してください (周波数50/60Hzを確認)
E2	障害物や誤った使用方法により刃物の昇降移動が妨げられている	販売会社までご連絡ください
	刃物昇降用のモーターが正しく動作していない	
E3	刃物昇降用のモーターが正しく動作していない	販売会社までご連絡ください
	刃物現在位置検出用のセンサーが正しく動作していない	
E4	刃物原点位置検出用のセンサーが正しく動作していない	販売会社までご連絡ください
	刃物現在位置検出用のセンサーが正しく動作していない	
E5	刃物最下点位置検出用のセンサーが正しく動作していない	販売会社までご連絡ください
	刃物現在位置検出用のセンサーが正しく動作していない	
E6	刃物昇降用のモーター制御が正しく動作していない	販売会社までご連絡ください
E7	カップ検出用のセンサーが汚れている	汚れをふき取ってください。(P.17参照)
	カップが正しく検知されていない	セットされたカップの状況を確認してください
	ドア開閉検知用のセンサーが正しく動作していない	販売会社までご連絡ください

消耗部品

- 下記の部品につきましては、消耗部品となります。
(保証期間内の無料修理対象外です。)

品	名
刃物	洗浄カバー
カップカバー	プロテクター台座
シャフトブッシュ	攪拌モーターのブラシ
カッププロテクター	

仕様

品名	業務用 ミキシングマシン CUP BLENDER	
型式	SM500A	SM50WA
注水機能	無	有
電源	単相100V 50/60Hz	
定格消費電力	190/190W	
定格時間	15分	
無負荷時刃物回転数	19,000rpm	
操作制御方式	タッチパネル式電子制御（7セグLED付） 3プログラム＋洗浄スイッチ＋刃物交換スイッチ＋変更スイッチ 注水/戻スイッチ＋時間/抜スイッチ	
給水圧力	0.2～0.75MPa	
質量	20kg	21kg
外形寸法（幅×奥行×高さ）	235×421×725mm	
付属品	①カッププロテクター（R） ②カッププロテクター（L） ③刃物取付ホルダー ④刃物交換スパナ ⑤排水ホース ⑥取扱説明書	

●長年ご使用の厨房・調理機器の点検を！

愛情点検



こんな症状はありませんか？

- スイッチを入れても運転しないことがある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- いつもより製品が熱くなる。
- こげ臭い"におい"がする。
- 電源コードを曲げると通電しないことがある。
- 触れるとビリビリ電気を感じる。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、
電源プラグを抜く、または
ブレーカーを切り、
販売会社に点検・修理
をご相談ください。

保証書

品名	CUP BLENDER
型式	SM500A・SM50WA
お買上日	年 月 日
保証期間	1 年
お客様の住所	
お名前	
販売会社住所	

※必ず各欄をご記入ください。

●故障が発生した場合は本書記載内容により修理いたします。

- 保証期間内は無料修理いたします。
ただし、次の場合は保証期間内でも有料になります。
・誤った使用目的・使用方法・改造による故障。
・落下・火災・地震など天災地変による故障。
・消耗部品の交換・保証書のないもの。
- 保証期間後は、修理できる製品についてご希望により有料修理いたします。
- 保証書は紛失されても再発行いたしません。
- 保証書は日本国内で使用される場合のみ有効です。
(This warranty is valid only in japan.)
- 保証期間の内外に関わらず、機械の故障により発生した業務上の保証(操業保証)はいたしません。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

〒511-0944 三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1



アフターサービスについて

- 保証書は記載内容をご確認の上大切に保管してください。紛失されても再発行は致しません。
- 保証書にお買い上げ日、販売会社など所定事項の記入がないと有効とはなりません。記入がないときはすぐにお買い上げの販売会社にお申し出ください。
- 万一、故障した場合には、保証期間中は保証書の記載内容に準じて無料修理を致します。
- 詳細は保証書をお読みください。
- 保証期間内の修理などアフターサービスについてご不明のときは、お買い上げの販売会社、または、最寄りの当社営業所までご連絡ください。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

フード機器事業部／三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1 〒511-0944
東京／TEL 03(5833)9968 大阪／TEL 06(6788)2251
中部／TEL 0594(32)1130 福岡／TEL 092(474)1312